

令和4年度予算のあらまし

一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆1,376億円で、前年度比282億円増加し、震災以降引き続き1兆円を超える規模となりました。

一般会計では、新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費や、子ども・子育て支援関連経費の増加などにより、前年度比165億円増の5,929億円となりました。

また、特別会計は国民健康保険事業特別会計における保険給付費の増加などにより17億円増加し、企業会計はガス事業における原料費の増加などにより、100億円増加しました。

歳入 国庫支出金や市税収入が増加

国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る補助金の増加などにより199億円増加しました。また、市税収入は、軽減措置の終了による固定資産税の増加などにより132億円増加しました。一方、諸収入は、中小企業融資預託金の減少などにより78億円減少しました。

歳出 義務的経費・投資的経費ともに増加

【目的別の歳出】 社会福祉や保健衛生に要する費用である健康福祉費は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費の増加などにより、2,352億円（39.7%）と最も大きな割合を占めました。次いで博物館維持補修に係る経費の増加などにより教育費が1,033億円（17.4%）、公債費が582億円（9.8%）、土木費が565億円（9.5%）となりました。

【性質別の歳出】 人件費、社会保障給付等の扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、子ども・子育て支援関連経費の増加などにより前年度に比べて36億円の増加となりました。また、投資的経費は、松森工場の基幹的設備改良に係る経費の増加などにより前年度に比べて62億円の増加となりました。

「コロナ後の都市間競争に打ち勝ち、世界から選ばれるまち」の実現に向けた財政運営

本年度は、施政方針に掲げた施策の2つの柱である「世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり」・「多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり」に重点的な予算配分を行いました。

また、地域経済の早期回復・成長促進による安定した税源の確保に加え、新たな「仙台市役所経営プラン」に基づく積極的な歳入の確保、事務事業の見直しや効率化の徹底、公共施設の長寿命化など、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立に向けた取り組みを進めていきます。

予算についてのお問い合わせは

財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、

または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計**…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計**…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計**…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

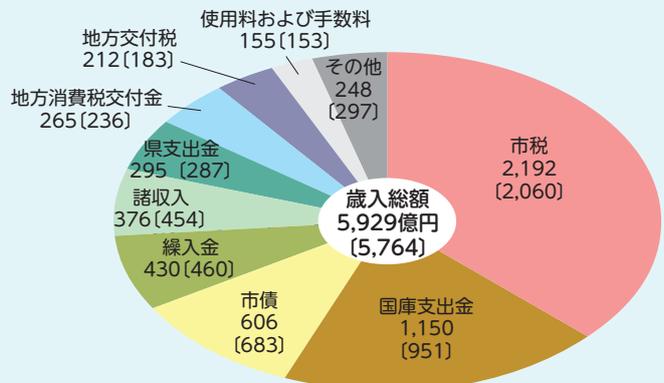
令和4年度の会計別の予算規模

	令和4年度（前年度比）
一般会計	5,929億円（165億円増加）
特別会計	3,151億円（17億円増加）
企業会計	2,296億円（100億円増加）
合計	1兆1,376億円（282億円増加）

歳入内訳（一般会計）

（単位：億円）

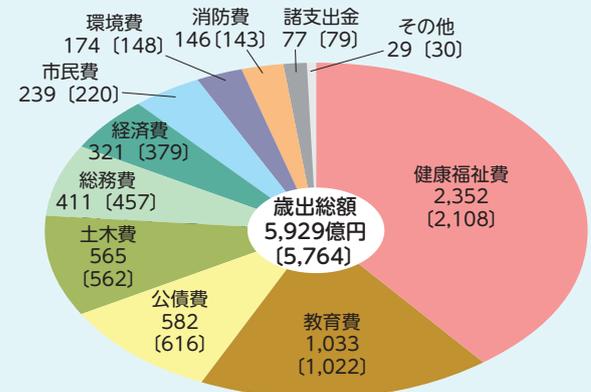
※〔 〕内の数字は令和3年度当初予算の金額



【目的別】歳出内訳（一般会計）

（単位：億円）

※〔 〕内の数字は令和3年度当初予算の金額



【性質別】歳出額（一般会計）の推移

（単位：億円）

